

学校を飛び出して、  
地元で活躍するオトナを取材しよう！

## 地元のために 何ができるのか

OKB大垣共立銀行  
業務開発部 大内未紗さん



OKB大垣共立銀行の業務開発部で「エルズプロジェクト」に所属している大内さんに、銀行や仕事についてお話を伺いました。

**Q**…パンフレットに「脱・銀行」とありますが、大垣共立銀行はどのような銀行か教えてください。

大垣共立銀行は、地域の皆様と共に歩んでいくことを考えています。お客様にご来店いただいた時に「いらっしやいませ」と言うのは、お客様をお迎えするために本場に大切なことです。大垣共立銀行は、サービス業だということも全面に出しています。銀行という枠にとらわれず、もっと視野を広げてお客様のために何ができるのかということを考えています。

**Q**…業務開発部ではどのようなお仕事をされていますか。

業務開発部は、お客様向けの商品やサービスを企画・開発をしています。私はその中にあるエルズプロジェクトのメンバーとして、女性目線を生かし、女性のための企画を考えています。

**Q**…エルズプロジェクトができた背景を教えてください。

エルズプロジェクトは2008年に発足しました。それまでは、女性向けの商品はそれほど多くなかったのですが、女性が社会で活躍するようになり、女性向けの商品やサービスの必要性が高まってきました。女性の意見もぜひ取り入れたいということで、エルズプロジェクトが立ち上がりました。

**Q**…他の銀行にないサービスを3つ教えてください。

お客様が車に乗ったままお取引ができるドライブスクワイリがいます。

**Q**…一番大変だったことを教えてください。また、それをどのように乗り越えましたか。

業務開発部に初めて来たときは、女性向けの商品やサービスを企画、と言われても何から始めていいのかわからない。また、情報集めも何をどうしているかわからない。初めてのことばかりでとても辛かったです。でも、周りの先輩や上司からアドバイスをもらったり、以前エルズプロジェクトにいた先輩からアドバイスをもらいながら、少しずつ企画や自分の意見を先輩に言ったりして、何とかここまでやってこられました。

**Q**…大内さんはどんな高校生や大学生でしたか。

高校生のときは剣道部に所属していて部活一色でした。高校や大学の部活・サークルと一緒に頑張った仲間は、卒業して10年以上経った今でも連絡を取り合える本当に大切な友達です。皆さんも部活や学校生活でできた友達は大切にしたいと思います。

**Q**…銀行員になりたいといっから思われましたか？きっかけがあれば教えてください。

私は最初から銀行員になろうと思ったわけではありません。大学生のときは東京に下宿して、地元を離れていました。その分、地元に戻って来たい、岐阜に戻って就職したい、という想いが強くなり岐阜の企業を探し始めました。いわゆる就活です。大垣共立銀行は地域の方と直接お話しができるし、地域のために何ができるのかをサービス業という観点から商品やサービスを考えているのがすごく楽しそうだと感じました。ここなら地元に戻って地元の人のために働けるので、ここに就職したいと思いました。

ルー窓口や、ATMの操作画面でスロットゲームができるといったお客様が便利だったり楽しめたりするサービスもあります。3つに絞るのはなかなか難しいので、私が所属しているエルズプロジェクトの商品・サービスの中で、思い入れの強いものを3つ紹介させてもらえると嬉しいです。

一つ目は、エルズプロジェクトからお届けしている女性向けの冊子「女性を笑顔にする本」です。銀行の情報ばかりではなく、雰囲気美人になれる方法やお料理のレシピなど、手に取って見てももらえるといいなということがたくさん載っています。また、女性の方は乳がんにかかる確率が今すごく高くなっている、健康にも気を付けて欲しいので、そういう情報も載せています。

二つ目は、子どもを授かりたいと願うご夫婦を応援するために作られた「Future Aide（フタリ・デ）」というローン商品です。不妊治療は今でこそ世間で話題になったりしますが、このフタリ・デが発売された当時は不妊治療というのが浸透していませんでした。こういった不妊治療関連ローンが出ることで自体びつくりされるような時代でしたが、夫婦の願いをかなえたいという思いを形にしました。

三つ目は、2017年10月にエルズプロジェクトから出た「matline（マチネ）」という女性のためのメモリアルローンです。自立して生涯独身の女性が増えていきます。自分のお墓をどうしようか、という時に考えていただけます。

**Q**…業務開発部の仕事をするにあたって心掛けていることや大切にしていることを教えてください。

商品やサービスを企画するということは、それが実際に世の中へ出た時にお客様に使っていただけるのか、必要とされているのかがわからない状態で企画しなければなりません。いろいろ情報を集めてもそれが正解かどうかかわからないということがすごく大

**Q**…学生時代から資格について意識した方がいいですか。

皆さんには将来の夢がたくさんあると思うので、そのためにどういった資格が要るかや自分の夢をかなえる為の情報を今のうちから色々調べておくことは全然早くないと思います。



### 【感想】

大内さんのお話を聞いて、大垣共立銀行には通常の業務だけでなく地域のため女性のためにいろいろなサービスがあり、どのような想いで考えられてきたかを知ることができました。自分も将来やりがいのある仕事ができたら良いなと思いました。

インタビュする前に、質問を考えたりハーサルをして写真を上手く撮る練習などもしましたが、いざ本番になると緊張してしまいました。ですが、なんとか無事にインタビューを終えることができました。また、原稿作りでは何度も手直しをしようやく完成しました。いろいろと良い経験になりました。

【取材・記事】 一年 中村悠助

変で難しいところですが、仕事をしているときではなく、普段の生活からでも何かヒントはないかと常に情報を集めることを心掛けています。

**Q**…どんな時に仕事のやりがいを感じますか。

エルズプロジェクトでは、エルズクラブという女性のお客様を対象にした会員制サービスを運営しています。会員の方向けにセミナーやイベントもやっています。金融とかお金に関する内容だけではなく、例えばドライブツアーでリース作りとか、お料理教室というようなものまで沢山あります。企画するときには、お客様の反応がわからない状態で企画するのですが、参加していただいたお客様に「楽しかったよ」とか「来てよかったわ」と言われると、もの凄

